

# 研究開発成果を社外展示会で広く発信



エネルギー総合研究所 総括グループ 奈良井 慎一

## 1 はじめに

エネルギー総合研究所では研究開発成果や現在の研究について広く皆さまに情報発信するために、社外主催の展示会や地域イベントに出展している。以下に平成29年度の取り組みを紹介する。

## 2 電設工業展

電気設備の新製品や施工技術、施工実績を紹介する展示会に出展。

日時：平成29年5月17日(水)～19日(金)

場所：東京ビッグサイト

会場来場者：約3万人

### ○配電用可搬型故障点標定システム

高圧配電線での地絡の事故点を標定できるシステムを開発した。発見が困難であった短時間事故停電の究明に役立つ。

## 3 プラントメンテナンスショー

工場設備の維持管理・保全技術を対象にした専門展示会に出展。

日時：平成29年7月19日(水)～21日(金)

場所：東京ビッグサイト

ブース来場者：約200人(会場来場者：約3万人)

セミナー来場者数：85人

### ○火力発電所設備の余寿命診断技術・補修技術

- ・ボイラ配管の高応力部位推定
- ・高クロム鋼余寿命診断
- ・帯鋼巻き付けによる配管のクリーブ寿命延伸技術



## 4 インフラ検査・維持管理展

インフラの老朽化対策のための維持管理に関わる最新の技術・取り組みを紹介する展示会に出展。

日時：平成29年7月19日(水)～21日(金)

場所：東京ビッグサイト

会場来場者：約3万人

### ○金属柱劣化判定システム

金属柱地中部分を掘削することなく劣化状況が判定できる超音波探傷法を用いた装置を開発した。

## 5 ひがしひろしま環境フェア2017

東広島市主催の環境保全に関する市民体験型イベントへ出展。

日時：平成29年7月22日(土)

場所：西条中央公園グラウンド

### ○養液栽培による壁面緑化システム

維持管理を容易にするため、培地槽と培養液槽を一体化した栽培装置を開発した。植物は常緑で環境ストレス耐性の高いピナンカズラを採用した。



## 6 四国電力 配電指令業務技術・技能協議大会

四国電力配電部門の技術力向上を目的に開催されている技術・技能大会へ出展。

日時：平成29年8月1日(火)

場所：四国電力総合研修所

### ○配電用可搬型故障点標定システム

## 7 ひろしまIT総合展2017

西日本最大級のIT・情報通信・情報サービスの総合イベントに出展。

日時：平成29年10月25日(水)～27日(金)

場所：広島市南区民文化センター

ブース来場者：約130人(会場来場者：約2万人)

セミナー来場者数：23人

### ○傾斜面監視システム

測定した傾斜角度データに含まれる気温変化分を取り除き計測精度を向上させ、微弱な地盤変化を観測するシステムを開発した。



## 8 おわりに

6カ所の社外展示会に出展し、多くの方に研究成果等を紹介することができた。今後も積極的に出展し、地域社会・地域企業に貢献したいと考えている。